

ON A LIOUVILLE TYPE THEOREM FOR HARMONIC MAPS TO CONVEX SPACES VIA MARKOV CHAINS

桑江一洋 (熊本大学教育学部)

1. 枠組

この話はボン大学 Karl-Theodor Sturm 氏との共同研究に基づく。 (Y, d) は完備可分な測地空間とする。講演の目的は (リーマン多様体とは限らない) (Y, d) に値をもつマルコフ連鎖に立脚した調和写像の Liouville 型定理を与えることである。リーマン多様体に値をもつ調和写像の (リーマン多様体上のブラウン運動や拡散過程に立脚した) Liouville 型定理は Kendall [3] や厚地 [1] によって既になされているが、我々の枠組みでの拡散過程をもちいた一般化は現在進行中であり、時間があればそのことにも触れたい。

定義 1.1 (Admissible function). $Y \times Y$ 上の非負実数値関数 Φ が *admissible* とは、 Φ は対角線上のみで退化し、 $x, y \in Y$ 毎に $x \mapsto \Phi(x, y)$, $y \mapsto \Phi(x, y)$ が連続で、上半連続関数 $\psi : [0, \infty[\rightarrow [0, \infty[$ で $\psi > 0$ on $]0, \infty[$, $\psi(0) = 0$ and $\Phi(x, y) \leq \psi(d(x, y))$ for $x, y \in Y$ を満たすものがとれることとする。また三つ組 (Y, d, Φ) が *admissible space* とは Φ が *admissible* であることとする。

$\mathcal{P}(Y)$ を Y 上のボレル確率測度の全体とする。admissible function Φ に対し

$$\mathcal{P}^\Phi(Y) := \left\{ \mu \in \mathcal{P}(Y) \mid \int_Y \Phi(w, z) \mu(dw) < \infty \text{ for all } z \in Y \right\}.$$

と定める。

定義 1.2 (Φ -barycenter). (Y, d, Φ) を admissible space とする。 $\mu \in \mathcal{P}^\Phi(Y)$ に対し、点 $b(\mu) \in Y$ が μ の Φ -barycenter とは各点 $z \in Y$ に対し

$$(1.1) \quad \Phi(b(\mu), z) \leq \int_Y \Phi(w, z) \mu(dw) (< \infty)$$

のこととする。

注意 1.1. $\mu \in \mathcal{P}^\Phi(Y)$ の Φ -barycenter は一般には一意的とは限らない。 μ の Φ -barycenter の集まりを $B^\Phi(\mu)$ と記す。

Φ -barycenter をもつ admissible space (Y, d, Φ) の例として CAT(0)-空間 (例として Hadamard 多様体, Tree, Hilbert 空間)、太田 [5] による k -凸空間 ($0 < k \leq 2$, 例として直径が $\pi/2$ より小さい CAT(1)-空間)、Hildebrandt や Kendall [4] によるリーマン多様体における regular geodesic ball、可分バナッハ空間などが挙げられる (個々の例の説明と Φ の与え方は講演中に詳しく述べる)。

可測空間 (X, \mathcal{X}) 上の保存的な Markov 連鎖 $M = (\Omega, X_n, \theta_n, \mathcal{F}_n, \mathcal{F}_\infty, \mathbb{P}_x)_{x \in X}$ を考える。ここで θ_n は $X_{m+n}(\omega) = X_m(\theta_n \omega)$ で決まるシフト作用素、 $\mathcal{F}_n := \sigma\{X_k \mid$

$k \leq n$, $\mathcal{F}_\infty := \sigma\{X_n \mid n \in \mathbb{N}\}$ である。 $P(x, dy) := \mathbb{P}_x(X_1 \in dy)$ は (X, \mathcal{X}) 上の推移核であり、 $Pf(x) := \int_X f(y)P(x, dy)$ を積分が意味をもつ f に対し定める。

定義 1.3 (P -調和写像). (Y, d, Φ) を admissible space とし、 $\mathcal{X}/\mathcal{B}(Y)$ -可測写像 $u : X \rightarrow Y$ で $u_*P(x, \cdot) \in \mathcal{P}^\Phi(Y)$ を満たすものを考え、

$$(1.2) \quad Pu(x) := b(u_*P(x, \cdot))$$

とする。ここでは Φ -barycenter $b(u_*P(x, \cdot))$ を $B^\Phi(u_*P(x, \cdot))$ から一つ選ぶものとする。 \mathcal{X} -可測関数 $f : X \rightarrow \mathbb{R}$ が P -劣調和 とは $f \leq Pf$ on X のこととし、 $\mathcal{X}/\mathcal{B}(Y)$ -可測写像 $u : X \rightarrow Y$ が P -調和 とは $u = Pu$ on X のこととする。

注意 1.2. $\mathcal{X}/\mathcal{B}(Y)$ -可測写像 $u : X \rightarrow Y$ に対し、 Pu の定義は (Y, d, Φ) の与え方および Φ -barycenter の選択に依存する。また Pu の $\mathcal{X}/\mathcal{B}(Y)$ -可測性を要請する必要はない。

2. LIOUVILLE 性

定理 2.1 (Liouville 性). (Y, d, Φ) を admissible space とする。 Y が proper, すなわち任意の有界閉集合がコンパクト, であるか, あるいは Φ を距離関数とした $CAT(0)$ -空間か可分バナッハ空間になるとする。このとき X 上の有界 P -調和関数が常に定数なら有界な P -調和写像 $u : X \rightarrow Y$ も常に定値写像である。

注意 2.1. この定理は Kendall [3] の結果の離散時間版といえる。[3] では target 空間がリーマン多様体の regular geodesic ball (特に Hadamard 多様体) であったが、ここでは多様体の部分集合とは限らないものや無限次元空間 (たとえば Hadamard 多様体に値をとる L^2 -写像の全体) も例として包含されていることに注意されたい。

REFERENCES

- [1] Atsuji, A., Parabolicity, the divergence theorem for δ -subharmonic functions and applications to the Liouville theorems for harmonic maps, *Tohoku Math. J. (2)* **57** (2005), no. 3, 353–373.
- [2] Herer, W., Espérance mathématique au sens de Doss d’une variable aléatoire à valeurs dans un espace métrique. (French) [Mathematical expectation in the sense of Doss of a random variable with values in a metric space] *C. R. Acad. Sci. Paris Sér. I Math.*, **302** (1986), no. 3, 131–134.
- [3] Kendall, W. S., Martingales on manifolds and harmonic maps, *Geometry of random motion* (Ithaca, N.Y., 1987), 121–157, *Contemp. Math.*, **73**, Amer. Math. Soc., Providence, RI, 1988.
- [4] Kendall, W. S., Probability, convexity, and harmonic maps with small image I: Uniqueness and fine existence, *Proc. London Math. Soc.*, (3) **61** (1990), no. 2, 371–406.
- [5] Ohta, S., Convexities of metric spaces, preprint, 2005, <http://www.math.kyoto-u.ac.jp/~sohta/>.
- [6] Sturm, K.-Th., Nonlinear Markov operators, discrete heat flow, and harmonic maps between singular spaces, *Potential Anal.* **16** (2002), no. 4, 305–340.
- [7] Sturm, K.-Th., Probability measures on metric spaces of nonpositive curvature. Heat kernels and analysis on manifolds, graphs, and metric spaces (Paris, 2002), 357–390, *Contemp. Math.*, **338**, Amer. Math. Soc., Providence, RI, 2003.